

第5号

2016年10月発行

全日本民医連救急医療研究会

お問合せ先

耳原総合病院

TEL 072-241-0501(代)

担当:端(地域連携室)疋田(医局事務課)

第3回学術交流集会In大阪 ニュース

過去最高の**86**演題！ 全国から**129**名の参加者
研究会へたくさんんのご参加ありがとうございました。

開催テーマ

「困難を抱えた患者さんと家族に寄り添う医療を」

1日目

初日のプログラムは、講演Ⅰと分科会(演題発表)。許先生の講演では、高齢者救急において私たちが身に付けておくべき哲学、知識、スキルなどを整理して提示して頂き、非常に勉強になりました。

分科会では、各事業所における様々な医療実践や取り組みなどの報告がなされ、「自分の事業所でも是非取り組んでみよう」と思える内容でした。参加者のモチベーションを上げる分科会になったと思います

2日目

2日目のプログラムは、テーマ別分科会と講演Ⅱでした。14のテーマ(救急隊との連携、クレーム/暴力対応、貴重品/物品管理、自殺企図、ICLS、ECPR、呼吸ケアチーム、家族ケア、RRS/院内救急コール、災害医療、DNAR、人づくり(医師)、人づくり(看護師)、救急医療と総合診療)に分かれてスマーリングループディスカッションを行い、各グループから内容報告をしました。この企画は初めての試みでしたが、参加者の積極的な討論参加により、各事業所での具体的な実践と悩みが交流でき、有意義な時間が過ごせました。藤野先生の講演では、救急医療の現場において患者と家族をどの様に捉えていけば良いのか、「家族アプローチ学」とでも言うような内容をご教示頂き、今後の医療実践に活かして行くべき内容でした



次回は青森民医連
が主幹となります
青森の地で2年
後に元気に再開し
ましょう。



「GOMERから卒業しよう！ER高齢患者診療のボトムアップ」アドベンチストメディカルセンター 総合診療科 許智栄先生



「救急医療の現場における家族との関わり方」近畿大学医学部附属病院 家族支援専門看護師 藤野崇先生



夜の交流会

懇親会では、「地酒持ち寄りコーナー」を設け、各地から持ち寄った地酒の味を堪能しました。また、大阪ならではのおもてなしとして、西淀病院スタッフによる焼き立てのたこ焼きを振る舞いました。この懇親会で座長賞を発表し、座長からの受賞理由コメントを添えて、賞品である「551蓬萊豚まん」を授与しました。出し物としては、耳原総合病院スタッフによる「パーカクトヒューマン(ドクター)」ダンスパフォーマンスと、大阪人独特のノリによる各県連からの無茶振り一発芸披露などを行い、コテコテの大坂を楽しんで頂けたと思っています。

